

学校評価のアンケートへのご協力ありがとうございました。今年度の学校評価がまとまりましたので、お知らせいたします。

◎学校教育目標

人間性豊かな実践力のある千城っ子の育成

○目指す子ども像

- ㊦ 健康で最後までやり通す子供の育成
- ㊧ やる気いっぱい よく考え、自ら学ぶ子供の育成
- ㊨ きれいな心 心豊かで思いやりのある子供の育成



※参考資料の学校評価アンケート（児童7名 保護者回答7名 教職員10名）

縦軸：4…そう思う 3…どちらかといえばそう思う 2…どちらかといえばそう思わない 1…そう思わない 横軸単位：%

凡例

平均数値
児童
保護者
教職員

今年度の成果と課題・改善策

□は前年度よりアップ →

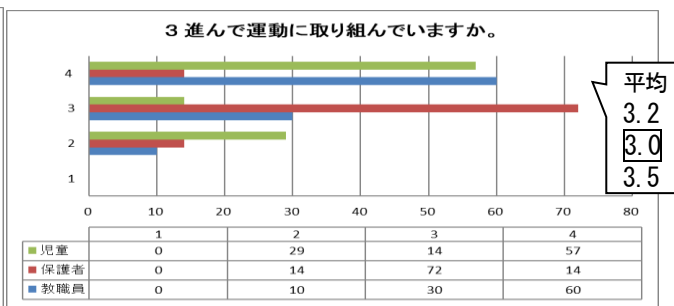
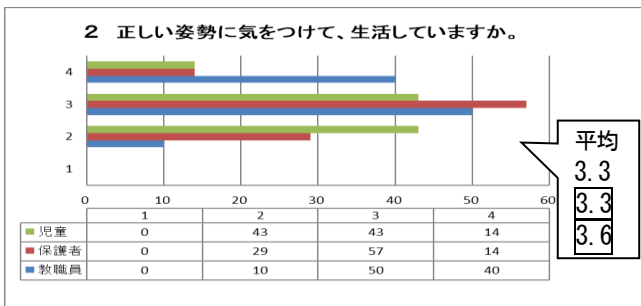
㊦ 健康で最後までやり通す子供の育成 に関連して

2 「正しい姿勢」

児童・保護者・教職員全てが昨年度より評価を下げている。食事や話を聞く時の姿勢は、それほど悪くないのだが、児童自身が意識をしていない時や、スマートフォンやタブレット等を扱っている時の姿勢が気になる。コロナ禍に自宅でゲームを長時間利用したり、学校でもタブレット等を使用する学習が増えたりしていることから、使用時に良い姿勢を保てるような手立てを講じていきたい。また、良い姿勢を保つための筋力や体幹を鍛えることも必要であると考え。次年度、教育課程の中での取組を工夫し、改善を図りたい。

3 「進んで運動に取り組んでいる」

評価の4と2が必ず含まれていることから、2極化していることがわかる。7月にアンケートを取った時に評価が低かったため、体育学習や行事等をきっかけに日常的に取り組めるように声掛けをした結果、児童が運動を意識し、休み時間に外に出ることが増えた。未だ感染症拡大予防対策で、活動が制限されているが、遊び方を工夫して、複数学年で一緒に遊ぶ時間をさらに増やしたい。活動の中で運動の楽しさを味わわせるとともに、継続的な取組による体力の向上を図っていきたい。

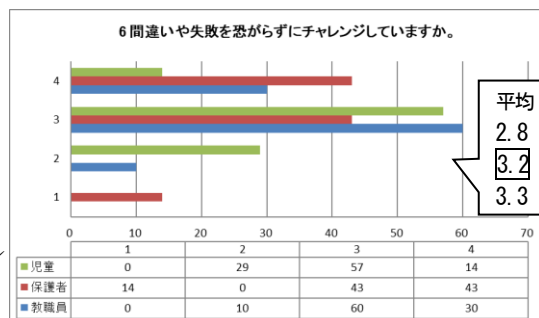


㊧ る気いっぱい よく考え、自ら学ぶ子供の育成 に関連して

6 「間違いや失敗を恐がらずにチャレンジする」

児童が様々なことにチャレンジし、頑張っていると認めている保護者が多いことは、児童の励みとなる。

新しいことに取り組むことや、教師の指示を待たずに自分なりに考え進んで活動する経験を増やし、自分で頑張ってきたという自信を積み重ね、自分なりのめあてをもってチャレンジしていける児童を育てたい。そのために、学習や生活の指導にあたっては、主体的に取り組めるような活動を工夫すること、活動の始めに具体的な目標を示したり、振り返りをしたりしながら、児童が継続的に取り組めるような支援を行うことを続けていきたい。

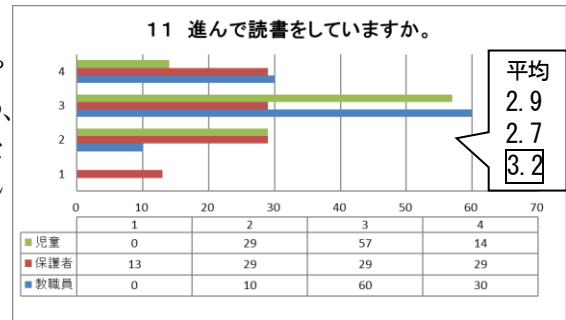


11 「進んで読書をする」

毎年、全体的に評価の低い項目である。朝の読書タイムや図書の時間からは読書を楽しんでいる様子が見え始めるため、教職員の評価は低くないが、児童・保護者は読書量が足りないと感じているようである。休み時間や家庭では児童が好んで読書に取り組んでいる姿があまり見られないことから、まだまだ児童が読書の楽しさを実感していないととらえることができる。

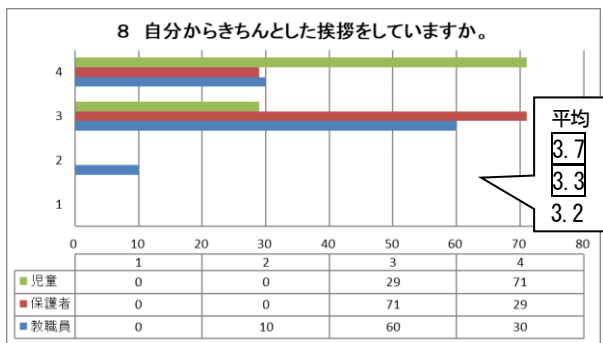
テレビやタブレット、スマートフォン等からは、読書よりも手軽に刺激的で楽しい情報を得ることができる。しかし、文字を読んで内容を読み取る力や想像する力は、児童の学力向上と生涯学習推進のためにも大切なことである。

今後は、朝読書の時間を大切にするとともに、児童が楽しみながら読書経験を広げ、進んで読書に親しむことができるような取組を工夫したい。学習や行事、給食などに関連させた読み聞かせやブックトーク、本の紹介、音読や読書カードへの記録などを続け、家庭と連携して児童の読書を推進していきたい。



⑧ きれいな心 心豊かで思いやりのある子供の育成に関連して

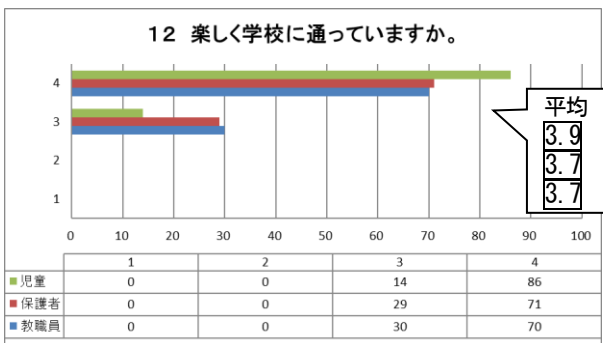
8 「自分から進んで挨拶をする」



児童・保護者の評価が昨年度よりも上がった。登校時には、児童が自分から先に挨拶をしたり、相手の顔を見て丁寧に挨拶をしたりする姿がたくさん見られた。

先生相手だけでなく、家族や地域の方が愛情込めて声をかけてくださることに気づき、感謝の気持ちをもって挨拶できるような豊かな心を育てていきたい。挨拶をすることのよさに気づき、あらゆる場面での挨拶を進んでできるように、職員共通理解のもと、学校全体での取組や学級での指導を工夫していきたい。

12 「楽しく学校に通っている」



今年度は評価がとても高く、児童が学校生活を楽しんでいることがわかる。学校としては、児童が少ない中でもよい関わり合いをもち、明るく楽しい学校生活を送れるよう努力を続けており、その成果は表れている。さらに、児童一人一人が自己有用感を味わえるような学校をめざしたい。そのために、今後もしっかり関わり合いを深め、一人一人の存在感や達成感を大切にしたい教育活動を工夫して展開していく努力を続けたい。

保護者の皆様からのご意見の一部

◎保護者の自由記述から

◇我が子が、「家も楽しいけど、学校の方がもっと楽しい。」と言っていた。寂しくもあるが、それ以上にとっても嬉しく思う。これは自分の理想であるので、学校の皆様にはとても感謝している。

◇学校の皆さんには感謝しかない。

◇いつもありがとうございます。このような状況下で大変かと思いますが、よろしく願います。

※原文のままではなく、要約で記述しています。記述いただき、ありがとうございました。

【今後の取組】

今後も感染症拡大予防に努めつつ、教育課程を進めていきます。取組を工夫しながら、子どもたちのためになる活動をできる限り行っていきたく思います。そのためにも、学校評価の結果と頂いたご意見をもとに学習指導・生活指導を見直し、子どもたちが安全に楽しく通い、一人一人が力を最大限に発揮できる学校づくりに、職員一同尽力してまいります。今年度も、ご理解ご協力をいただき、ありがとうございました。